



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....  
**SUITA ESAKA ROTARY CLUB**  
**CLUB WEEKLY BULLETIN**

創立年月日/1990.2.27  
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:庄瀬寛 幹事:橋本豊 会報委員長:北山陽一

2012年3月27日 第1037回例会(第1036号)

🌀 本日の例会 🌀

今週の歌 「日も風も星も」

卓話 「これからの吹田市は？」

吹田市長 井上哲也様

🌀 次回例会のお知らせ(4月3日) 🌀

卓話 「これからの吹田市は？」

三浦とし子様

(公明党大阪府議会議員)

本日の会長の時間

「高齢社会」 庄瀬会長

「日本は高齢化社会」という言葉が頻繁に使われますが、この言葉の使い方は間違いです。「高齢化社会」とは全人口に占める前期高齢者の割合が7%を超えた状態で、14%を超えると「高齢社会」といいます。この規定は1950年に国連で制定されていて、日本は2000年で17%に達しすでに「高齢社会」です。「高齢化社会」から「高齢社会」になるまでの年数は、フランスは130年。米国は70年。日本はなんと24年です。異常な国です。

日本の社会では、1990年代1,000兆円だった個人金融資産が10数年で1,500兆円になりました。日本人は年を重ねるにつれ資産が増えているのです。外国は50歳代前後が資産のピークでそれ以降は減少します。日本の高齢者は住宅ローンを払い終え、余裕が出てきても先行きが不安で金を貯めます。これが消費低迷の原因です。

前回〔3月13日〕例会記録

来客

阪口章吾君(関西大学RAC)

森本伍一君( )

会長報告 庄瀬会長

4月6日(金)~4月10日(火)来日の友好クラブ台北龍門RCの職場訪問受入れ事業に対して、ご来日される20名様の訪問団の受入れ費用として、会員の皆様に1人当たり15,000円のご負担をお願い致します。

次年度幹事報告 成松次年度幹事

2012~13年度のための地区協議会の案内

日時:4月28日(土)13:00~17:00

場所:大阪国際会議場

出席義務者:寺井、成松、新井、北村(雅)、北山、内田、金馬、渡辺、長島、水谷、杉本各会員

出席報告 飛田委員

【3月13日】  
在籍会員 39名(内出席規定適用免除者 11名)  
出席会員 30名(内出席規定適用免除者 7名)  
ホームクラブ出席率 85.71%

2月21日のMUを含む出席率 97.14%

関西大学RAC例会出席担当  
Cグループ 金馬、西村、榎谷、栢本  
田中(弘)各会員

4月9日(月)・23日(月)

会場:関西大学千里山キャンパス

中央体育館 図書資料室

時間:19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

## ニコニコ箱

新井会員 先週お休みしました。

西上会員 阪口君、森本君ご卒業おめでとうございます。本日の卓話宜しく。

田中(茂)会員 連続欠席のお詫び。92回目の稲荷祭無事終わりました。

飛田会員 昨日半年ぶりにゴルフに行きました。雪で大変でした。

本日分 23,000円

累計 1,059,000円

## 関西大学RAC第36回例会出席報告

西本委員長

3月12日関大RACの卒業例会に出席いたしました。

今回は創立時の会長である阪口君、同じくチャーターメンバーで現幹事の森本君、同じくチャーターメンバーの川那辺君が卒業されると言うことで、庄瀬会長と創立時の渡辺バスト会長をお誘いし出席いたしました。創立時からの懐かしい写真がスクリーンに映し出されたあと、卒業生のスピーチがありました。社会人RACやOB、OGも駆けつけ、それぞれ花束や記念品が渡されました。当クラブからも庄瀬会長、渡辺バスト会長、八橋バスト会長、金馬、西本の有志5名で記念品をお贈りしました。

何よりも関西大学RACを継続させていきたいという卒業生や在校生の思いが伝わった卒業例会でした。創立以来2年間の彼らの成長もまた実感いたしました。

## ゴルフ同好会

田中(弘)幹事

平成24年6月6日(水)、吹田西RCとクラブ対抗ゴルフコンペが決まりました。(場所 山の原GC)

本年で第11回です。どうぞ皆様ご参加の程よろしくをお願いします。

## 卓話

「卒業にあたって」(3月13日・第1036回)

関西大学RAC 阪口章吾君

関西大学RAC創立

私にとっての関西大学RAC創立のきっかけは2008年10月に開催された「秋のライラ」です。私は関西大学の合宿授業のひとつとして参加しました。合宿最終日に「このような合宿(などの活動)をやっていくサークルができる」と、授業を担当していた安田先生から説明されました。このサークルが後の関西大学RACとなるのですが、当時の私は「楽し



そうなサークルなら入ってみたい」と軽く考えていました。しかしそのまま1年近く音沙汰がなく、2009年9月ようやく安田先生から「あの時言っていたサークルができるから、メンバーを集めてくれ」と連絡を受けました。この時に集まってくれた人達が、関大RAC創立メンバーとなります。実はこの1年間で、安田先生は秋のライラに参加した関大生の連絡先が、私しか分からなくなってしまっていたそうで、当然メンバー集めも私を中心にやることになりました。その流れで初代会長となった次第です。元々人を引っ張って行くような人間ではなかったので、本当に私が会長でいいのか、当時は本当に悩みました。あの時に「行けるとこまで精一杯行こう、頑張ろう」と決意して良かったと、この2年半を振り返って痛感しております。

第1回例会(2010年7月)

プレ例会を含む創立から半年の準備期間をもって、2010~2011年度より関大RACは本格始動しました。記念すべき第1回例会の内容は「アイドルになろう! 例会」です。元カメラマンと元アイドルのメンバー2人が、きれいな写真の撮り方・写り方をレクチャー。表情の作り方や全身写真の構図など、就活から婚活まで幅広く活用できる撮影技術を勉強しました。プレ例会での反省を活かし、ようやく関大RACはRAC活動のスタートを切りました。

少年少女ニコニコキャンプ

2011年夏の少年少女ニコニコキャンプにて、私は総括リーダーをさせていただきました。プログラム全体の管理や総合司会・開会式場の使用手続など、様々なことを担当しました。全ての班の様子を見ることはできるものの、子ども達と直接関わる機会が少なかったです。しかし前回のニコニコキャンプで仲良くなった子数人が私を覚えてくれていたため、今回も楽しく過ごさせていただきました。創立して2年目の関大RACがニコニコキャンプをやることにはたくさんの心配がありましたが、「ここでやら

ねばいつやる？ なのためのRACか？」と  
え、「ぜひやらせてください」とRCの方々にお願  
いしたことを覚えています。お蔭様で、このニコ  
ニコキャンプで関大RACはまたひとつ成長しました。  
この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

#### 関西大学RAC 森本 伍一 君 関西大学RAC創立

僕が関西大学RACの創立に関わった始まりは初  
代会長阪口からの「部活創立に15人の人数がいるか  
ら幽霊部員でもいいから参加して欲しい」という内  
容のメールからです。当時僕は学部の4回生であり、  
僕だけ高槻キャンパスから例会場である吹田キャン  
パスに通わないと行けないという事もあり「RYLA  
の時に一緒に班になった縁もあるし幽霊部員とし  
てなら。けどそれが限界かな」位の気持ちでした。  
しかし、いざローターアクトの地区役員との打ち合  
わせの場に行ってみると、名簿の人数に対して参加  
者数のあまりの少なさに危機感を覚えました。「創  
るからには成功してもらいたい！」という気持ちか  
ら委員長に立候補し、その結果、社会奉仕委員長の  
役職をいただきました。その場の感情から本格的な  
参加を決めましたが、ローターアクトに入らなけれ  
ばこれだけの多種多様な方々と知り合うことは出来  
ず、今の自分はありませんでした。

#### 第0回ブレ例会（2010年6月）

7月からの例会の本格始動を前に予行演習として  
第0回ブレ例会を開催しました。「名刺例会」と銘  
打って、パソコンを利用し数種類用意したテンプレ  
ートから各々が自分の名刺の作成を行いました。  
しかし、名刺作成ソフトの利用方法を教えられる人  
が不足しており数人が何とか作れたという結果でし  
た。原因としてはメールでのやり取りにより各人が  
準備を行なっていたため準備の確認が出来ていなか  
った事であり、実際に集まった上での準備や確認を  
心掛ける必要がある事がわかりました。

#### 東北ボランティア

2011年の5月と10月に御堂筋RACの人達と共に  
宮城県の石巻市までボランティア活動に行きました。  
5月は用水路の泥だし、10月は住宅や港の泥だしや  
撤去作業の手伝いを行いました。特に10月は直前に  
姉の結婚式やアラスカでの学会発表があり、0泊4  
日のハードスケジュールの上での参加になってしま  
い、飛行機に座りっぱなし、マイクロバスに座りっ  
ぱなしとかなり腰にくるスケジュールとなりました。  
ボランティアの時に公民館の屋上に乗り上げたバス  
の現場を見に行っており、3月10日にそのバスの撤

去作業が報道されているのを見て、被災地では今で  
も戦っているということに改めて感じ、今後も考え  
ていかなければならないと思いました。

最後に、様々な機会を与えて下さったRCの皆様、  
右も左もわからない僕達に協力して頂いたローター  
アクトの皆との繋がりを今後も大切にしていきたい  
と考えています。そして、今後も関西大学RACへ  
のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

#### 関西大学RAC 川那辺 啓太 君

吹田江坂RCの方々には関西大学RAC創設から  
大変お世話になっており、感謝の気持ちは言葉で表  
せられないくらいです。特に少年少女ニコニコキャン  
プでは普通の大学生活においては経験できないよう  
なことをさせていただき、非常に勉強になりました。

吹田江坂RCの皆様、本当にありがとうございます。  
また、これからも関西大学RACを宜しくお願  
ひします。

### 卓 話

「5分間卓話」（3月6日・第1035回）

『最近あった楽しい出来事』

#### 寺井 正昭 会員

私がゴルフを始めたのは41歳を過ぎた春でした。  
それから25年を経過した昨年の夏に私のゴルフ人生  
においてベストスコアを出すことが出来ました。そ  
れまでの私のベストスコアは80でした。その80とい  
うスコアは過去において3回ありました。しかし、  
私にとって80の壁はとてつもなく厚く、いままで70  
台のスコアは出したことが有りませんでした。70台  
のスコアは私にとっては夢の夢でした。年齢から考  
えてゴルフも下り坂に入りつつあり正に夢に終わっ  
てしまうのではと思っておりました。

それが夢ではなく現実になったのは昨年の8月7  
日の日曜日でした。それはホームコースである富士  
OGMゴルフクラブ小野コースのプライベートコン  
ペでおきました。その日午前のスコアはボギーが3  
つで久しぶりの39というスコアであがりました。昼  
からのスコア次第で夢の70台が出せると期待が膨ら  
んできました。昼からの期待を込めた1ホール目は  
本日初めてのパーティという幸先の良いスタートを  
きれました。ところが2ホール目でその事件は起き  
ました。期待を込めたティショットは力んでレディ  
スティにも届かないチョロ口になりました。深いラフ  
からの2打目はナイスショットでフェアウェイに出  
すことが出来ました。そして3打目の地点に行った

とき、私は愕然としました。紛れもなくゼクシオの3の球でしたが、その球には覚えもない『前田』という名前が刷られてありました。ガーデン～誤球をやってしまいました。一瞬そのまま黙っていけという悪の神の囁きが聞こえました。しかし、その声に負けず誤球を皆に伝えました。本来なら2打目の地点に戻って打ち直すのがルールですが、後続の組も来ており、プレーの進行上そのままプレーを続けることになりました。しかし私は動揺し3打目をバンカーに入れパー4のところを6打で上がりました。同組のやさしい人達は、罰なしの6でオーケーと言ってくれましたがコンペでもあり誤球の2打罰を加え8とスコアカードに書きました。その時点で夢の70台ははるか彼方へ飛んで行ってしまいました。

しかし、そのあと奇跡がおきました。3ホール目のショートホールをパーで上がったあと、次のロングホールとミドルホールで連続バーディが飛び出しました。これで2打罰は帳消しになり、さらに残りのホールでもう1つバーディが飛び出しました。結果39で上がることができました。この瞬間夢の78が達成できました。

70台のスコアも初めてですし、ハーフで4個のバーディも初めての経験でした。夢はあきらめないこと、次の新たな夢はハーフをパープレーで回ることになりました。ラスやヘビでいじめないでください。よろしくお願い致します。

~~~~~  
(ガバナー月信3月号より)

「世界ローターアクト週間」に因んで

ローターアクト委員会

委員長 梅澤喜八郎(東大阪西RC)

世界ではじめてローターアクトクラブが設立された3月13日を記念して、その前後一週間が世界ローターアクト週間とされています。

これを機会に、当地区のローターアクトの活動の一端を報告させていただきます。当地区には19のローターアクトクラブがあり、現在の会員総数は約260名で、期首から約60名の増となっています。これらの19のクラブを三つのゾーン(北、中、南)に分けて運営しています。

地区役員は地区代表、幹事、会計、副幹事3名、ゾーン代理3名の9名で構成されており、毎月2回役員会を開いて地区行事の取組みをはじめとする様々な課題を協議しています。

また、各ゾーン毎に月1回そのゾーンに属するクラブの会長が参加してゾーン会議(会長会)が開催されます。この会議には、地区役員から担当副幹事

と担当ゾーン代理が出席します。この会議では、各クラブの会員の増減、例会の報告、例会外の諸行事(奉仕活動など)が発表され、また次月の予定の案内が行われます。

年に2回、このゾーン会議にそれぞれの提唱クラブの担当ロータリアンにも出席していただいて意見交換を行い、相互理解を深める機会としています。

主な地区行事として、年2回(例年7月と2月)日赤に協力して献血活動を行っています。また、同じ日に、地区役員と各クラブの役員が集まって地区連絡協議会が開かれます。

9月に「全国統一アクトの日」、11月には「海外研修」があります。今年度はグアムを訪問しました。グアムは第2750地区(東京南)に属しているのですが日本のローターアクトとの交流の機会が少なく、今回の訪問で相互の理解と友情を深めるのに大いに役立ったと考えています。また戦没者の慰霊のために活躍している現地の日本人ロータリアンの方に出会い、戦中、戦後のグアムと日本との関わりについて多くのことを学ぶ機会となりました。

3月には「世界RAC DAY」、4月には「新旧理事役員会」、5月には「年次大会」、6月には「リーダーシップフォーラム」がそれぞれ開催されます。

これらの地区行事は各RC事務局に案内を流して参加を要請しています。

是非、理事会でご検討くださいますようお願い申し上げます。

最後に、東北支援について触れさせていただきたく。当地区ローターアクトも「災害支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、去る10月29日、30日に、地区代表の古川君と地区役員の末松君が茨木RCの久保様の紹介で気仙沼を訪問し、また1月21日には第2520地区(岩手、宮城)のローターアクト会長・幹事会に上記両君と小生も参加し、現地ローターアクトの諸君や列席されていたロータリアンの方々と、今後の支援のあり方について話し合ってきました。

いろいろな形でみなさまのご協力をお願いすることになると思いますが、どうかよろしくようお願い申し上げます。